



2018年11月14日

各位

会社名 株式会社E T Sホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 三森 茂
 (JASDAQ・コード 1789)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役経理部長 中澤文雄
 電話番号 03-5957-7661

業績予想と実績値との差異および特別損失の計上（連結）に関するお知らせ

2017年11月14日に公表いたしました2018年9月期連結業績予想値および2018年9月期個別業績予想値と本日公表の実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

また、2018年9月期の連結決算において、特別損失を計上することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2018年9月期通期連結業績予想の修正（2017年10月1日～2018年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	7,031	343	339	266	41.78
今回実績(B)	6,241	184	180	105	16.50
増減額(B-A)	△790	△158	△158	△161	—
増減率(%)	△11.2	△46.3	△46.8	△60.5	—
(ご参考)前期実績 (2017年9月期)	5,497	381	432	203	31.89

2. 2018年9月期通期個別業績予想の修正（2017年10月1日～2018年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	6,008	331	325	255	40.15
今回実績(B)	5,261	211	206	163	25.59
増減額(B-A)	△747	△119	△119	△92	—
増減率(%)	△12.4	△36.1	△36.6	△36.3	—
(ご参考)前期実績 (2017年9月期)	4,773	398	398	486	76.43

3. 差異の理由

(個別)

売上高につきましては、当初見込みに比べ一部の送電事業関連工事の発注および着工時期が翌期に繰り延べとなったことや、想定以上に企業間の受注価格競争が一層激化した影響により受注に至らなかったものもあり、売上高が8億円弱不足したことから、期初の予想値を下回ることとなりました。

利益につきましては、売上高の減少に伴う売上総利益の減少や受注価格競争により利益率が想定より2%程度低下したことから、期初の予想値を下回ることとなりました。

(連結)

主に個別業績予想の差異と同等の理由によるものと、特別損失（減損損失）を計上したことなどにより、期初の予想値を下回ることとなりました。

4. 特別損失（減損損失）の計上について

当社の子会社である株式会社東京管理を取得した際に発生したのれんについて、同社の業績が当初策定の計画を下回って推移していることを勘案して、今後の事業計画を見直し、回収可能価額を慎重に勘案した結果、のれん残高として計上しておりました32百万円を特別損失（減損損失）として計上することといたしました。

以上